

平成28年 有害物質による急性中毒等発生状況

北海道労働局(28年確定)

発生年	発生日	時刻	業種	規模	災害の状況
1	28	1 12時台	鉄骨・鉄筋コンクリート造 家屋建築工事業	10人未満	被災者と共同作業員(非労働者)の2名は8階建て建築物の新築工事において8階廊下のコンクリート壁及び天井を塗装する作業に従事していた。 別の工事業者が被災者と共同作業員が倒れているのを発見した。 廊下の窓、戸等の開口部は養生シートで密閉されており、塗装にガソリンエンジン式のコンプレッサーを使用していた。 (一酸化炭素中毒・被災者1名・死亡)
2	28	2 12時台	その他の 建築工事業	10人未満	被災者、事業主、他社の事業主の3名は建物内に設置したエンジン式発電機から電源を取り、機械で床のタイルを剥がす作業に従事していた。 12時過ぎにめまいがするので自ら運転して3名とも病院へ行ったところ、一酸化炭素中毒と診断された。 (一酸化炭素中毒・被災者1人・休業4日未満)
3	28	2 17時台	その他の 小売業	10人未満	被災者は、工場内でエンジン式溶接機でアーク溶接を行っていたところ、一酸化炭素中毒になった。また近くで補助作業を行っていた労働者1名も体調不良を訴え、一酸化炭素中毒となった。換気は行っていなかった。呼吸用保護具は着用していなかった。 (一酸化炭素中毒・被災者2名・休業4日未満)
4	28	4 1時台	金属製品製造業	100人以上	工場近傍に一酸化炭素を50%程度含有する副生ガスが漏れ出したため、工場内で作業をしていた被災者ら4名と緊急搬送にあたった労働者1名が一酸化炭素中毒の症状を訴えた。 (一酸化炭素中毒・被災者1名・休業4日未満)
5	28	8 2時台	建築工事業	100人以上	被災者ら6名は、保育所改修工事において粉じんが屋外に飛散しないよう周囲を囲った遊戯室で、床暖房設置場所をエンジン式コンクリートカッター2台を用いてコンクリート床面の切断作業及び小型ブレーカー1台による床面の研り作業を行っていたところ、1名が倒れ5名が体調不良を訴えた。 (一酸化炭素中毒・被災者4名・休業4日未満)

平成28年 有害物質による急性中毒等発生状況

	発生年	発生月	時刻	業種	規模	災害の状況
6	28	10	15時台	食料品製造業	10人以上 30人未満	被災者ら約20名は、換気設備がない工場内で窓を閉め壁や天井、桶等に生えたカビを落とすため、次亜塩素酸ナトリウム(有効塩素12%以上)を水で希釈した洗浄液や中性洗剤を使用し、清掃・消毒作業を行った。1名が帰宅途中に具合が悪くなり病院で中毒と診断された。 (次亜塩素酸ナトリウム中毒・被災者1名・休業4日未満)
7	28	11	8時台	土木工事業	10人未満	(元請) 被災者ら3名は、水道の配管工事現場において、新築中の鉄筋コンクリート造のポンプ室内で型枠を解体する作業を行っていたところ、3名ともめまいなどの体調不良を訴えた。 (一酸化炭素中毒・被災者3名・休業4日以上1名、休業4日未満2名)
				土木工事業	10人未満	(1次下請) 被災者は、配水管新設工事現場において、新築中の鉄筋コンクリート造のポンプ室内で型枠を解体する作業を行っていたところ、めまいなどの体調不良を訴えた。 (一酸化炭素中毒・被災者1名・休業4日未満)
8	28	11	12時台	その他の事業	10人未満	被災者ら2名は、立体駐車場内の駐車装置の溶接補修作業を行っていたところ、意識を失ったもの。エンジン式溶接機とともにパレット(車両が乗る部分)に乗り、高さ28.9mの位置で駐車装置上部の鋼材の溶接作業を行っていた。 (一酸化炭素中毒・被災者2名・休業4日以上)
9	28	12	19時台	木造家屋建築工事業	10人以上 30人未満	被災者ら3名は、木造2階建て集合住宅新築工事現場において、基礎コンクリート部の給排水管のスリーブ設置作業中、一酸化炭素中毒となったもの。現場内は、当日に基礎コンクリートが打設され、仮設資材とビニールシートにより養生された内側にジェットヒーター1台・練炭21個が設置されていた。 (一酸化炭素中毒・被災者3名・休業4日以上2名・休業4日未満1名)
合計	発生件数		9件	内訳		一酸化炭素中毒 8件 18名 (死亡1名、4日以上5名、4日未満12名) 次亜塩素酸ナトリウム中毒 1件 1名 (4日未満1名)
	被災者数		19名	内訳 死亡1名 4日以上5名 4日未満13名		